

ロシア人口センサスの新たな展開

山口 秋 義

要 旨

ソ連邦崩壊後ロシアにとって最初の人口センサスが2002年に実施された。このセンサスは、捕捉率の低さや虚偽報告などを含めた多くの問題を露呈した。本稿の課題は、今日のロシアにおいて悪化しつつある、センサスをめぐる諸条件を検討することである。

目 次

はじめに

第1節 2002年人口センサスの実際

第2節 センサス実施における困難

第3節 2010年センサスと2008年予備センサス

結 び

はじめに

2008年10月、モスクワ、サンクトペテルブルグ、ハバロフスク、との3都市において、2010年人口センサスのリハーサルとしての予備センサスが行われた。2010年センサスへ向けた準備が進められる一方で、人口センサスの真実性に関する論議もロシア国内において活発である¹⁾。

ソ連最後の人口センサスとなった1989年センサスから10年を経て、1999年に予定された新生ロシア最初の人口センサスは、前年の通貨危機による財政逼迫によって延期を余儀なくさ

1) 2008年8月26日ラジオ「モスクワのエコー」で放送された番組のタイトルは、「狡猾な数字 人口センサスはあなたにとって必要ですか」であった。

Луковая цифра - перепись населения: оно вам нужно? 26. 08. 2008. Радио «Эхо Москвы». www.echo.msk.ru/guests/3888/

れた。2002年10月によろやく行われた人口センサスは、ソ連邦崩壊後の、領土縮小、国内移住の自由化、等の、人口諸現象に影響を与える要因が大きく変化し、調査環境も悪化する中で進められた。すなわち、モスクワ市民の約20パーセントが調査から漏れたことに象徴されるように、今後のロシアにおける人口センサスのあり方に関する重要な課題を提起した²⁾。

調査環境が悪化するなど、岐路に立つロシア人口センサスに関わって、本稿ではつぎの2つの点を検討する。

第一に、2002年人口センサスに対する国民の非協力など調査環境についてである。ここでは、センサス実施前後数回に亘って行われた「世論基金」() :

)の世論調査結果、センサスに参加した調査員の証言、報道資料など各種文献、とに依拠しながら検討する。

第二に、2010年人口センサスにおいて計画される新たな試みについてである。2002年センサスによって露呈した、調査拒否や虚偽申告などの調査環境悪化に対して、いくつかの新たな対策が採られようとしている。このうち、自己記入方式と郵送による調査票回収が、ロシアの特殊な社会状況下において定着しうるか、またこれが調査環境の改善へ繋がりうるか、とについて検討する。

第1節 2002年人口センサスの実際

調査票設計にいたる調査の理論的過程と、実査から集計・公表にいたる調査の理論的過程、とをみる。

(1) 理論的過程

センサスによって把握されるべき人口諸現象が、調査の計画段階においてどのように定義され、調査票の内容へ結びついたかを、統計調査の四要素(単位、標識、時、場所)に従ってみる。

(i) 時と場所

調査は2002年10月9日午前0時における状態について、10月9日から16日までの8日間において実施された。対象となる地域はロシア連邦全土と国外のロシア公館であった。地理的条件や紛争などの制約から、一部の地域における調査時期は次のように変更された。

2) A. C. Петрова. В Москве не переписали каждого пятого. [отчёт]. 24. 10. 2002. www.fom.ru

ロシア人口センサスの新たな展開

すなわち、遠隔地、極北、山間部、等の、調査にあたって地理的条件による困難が伴う地域において、9月までの夏季に調査が行われた。また紛争が終息しなかったチェチェン共和国では、10月12日から13日までの2日間に短縮した簡易調査が行われた。

(ii) 単位

1897年に第1回ロシア帝国人口センサスが行われて以降1989年にソ連邦最後の人口センサスにいたるまで、定住人口、現在人口、法定人口、との3つの人口概念が把握された。2002年人口センサスは定住人口に限った初めての調査であった。これは他の主要国に倣ったものとされるが、ソ連邦崩壊後の行政記録の劣化によって法定人口と現在人口との乖離が著しくなったことを一因として挙げなければならない。

定住人口の定義は、1年以上同じ国内住所に居住するものとされた³⁾。

定住人口とあわせて、調査時点の10月9日においてロシア国内に一時滞在(1年未満)する外国定住者が、国籍を問わず調査された。このように一部の現在人口を含んだ調査となった。他方で、ロシア国内に駐在する他国の外交官と国際機関職員は、その家族を含めて調査の対象とならなかった。

3) Итоги Всероссийской переписи населения 2002 года том I. методологические пояснения
Стр. 469-470.

被調査者の定住地を確定するうえで生ずる問題は次のように扱われた。

1年未満または期間の定めのない出張、出向、親族訪問、旅行、などに出かけた者はふだん居住する住所の定住者と見做され、一時不在者として扱われる。

1年以上国外において勤務する外交官は任地の定住者と見做される。

就学目的で親元を離れる学生は就学地における定住者と見做される。

軍人養成学校学生は家族との同居者と見做され、一時不在者として扱われる。すなわち、軍事施設の定住者と見做されない。

兵役に就く者の勤務地が閉鎖地帯に属さない場合は、家族との同居者と見做され、一時不在者として扱われる。すなわち、この場合も軍事施設の定住者と見做されない。

閉鎖地帯において兵役に就く者はこの地帯の定住者と見做される。

遠洋航海中の者は期間が1年を超える場合も国内住所の定住者と見做される。

刑が確定する前の拘留者は、ふだん居住する住所の定住者と見做され、一時不在者として扱われる。

受刑者は刑務所における定住者と見做される。

永住外国人と無国籍者は居住地の定住者と見做される。

1年以上ロシアに居住する外国人は居住地における定住者と見做される。

亡命または永住申請者は調査を受けた場所の定住者と見做される。

ホテル、病院、サナトリウム居住者で、ほかに住居の定めのない者はこれらの施設の定住者と見做される。

ホームレスは調査を受けた場所の定住者と見做される。

これらの取り扱いのなかで注意が必要なのは 閉鎖地帯にみられる軍人の扱いである。外部からの立ち入りを制限される閉鎖地帯以外の軍事施設居住者の多くが、別居する家族の元での同居者として扱われ、軍関係者の地理的分布が曖昧化される。

(iii) 標識

定住人口を構成する個人の属性がどのように定義され、調査票の内容となったかをみる。使用された調査票は4種類あり、それぞれ 票、票、票、票⁴⁾、と呼ばれる。それぞれの調査票の質問項目をみる。

票

1票(表)と2票(裏)とから成り、どちらも全く同じ内容である。主として住宅条件に関する項目が次のように配置されている。

1. 住宅のタイプ、2. 築年、3. 材質、4. 面積、5. 部屋数、6. 広さ、7. 設備(電気、ガス、暖房、上下水道、温水、風呂、シャワー、等)

票

1票(表)と2票(裏)とがあり、内容は全く同じである。世帯員属性に関する次の質問項目が並んでいる。

1. 世帯主に対する続柄、2. 性別、3. 生年月日、4. 婚姻関係(既婚、未婚、離婚、死別)、5. 出生地、6. 国籍、7. 民族属性、8. 学歴・就学状況、9. 習得言語(ロシア語と他言語能力)、10. 収入源、11. 就業状態

票

1票(表)の質問項目は票と全く同じである。従って調査員は同じ内容の票を3度重複して記入することとなる。2票(裏)は20%標本調査に用いられ、1票の第11項目の就業状態について、次のようにさらに詳細に問う内容となっている。

- 11.2. 就業する産業部門、11.3. 当該産業部門の主たる生産物、11.4. 事業所所在地、11.5. 職能、11.6. 非就業者の場合は求職状況、12. 出生時から同じ町に住んでいるか、13. これまで何人の子供を産んだか、さらに1989年センサス時の居住地を問うている。

票

センサス実施時において一時的ロシア国内に滞在する国外居住者を対象としたものであり、補足的に現在人口を捉えようとしたものである。質問項目は次の通りである。

1. 性別、2. 生年月日、3. 出生国、4. 定住国、5. 国籍、6. 民族属性、7. ロシア滞在目的
- また調査を受けた住所も併せて記入される。

これらの調査票のうち 票、票の表面、票、とが次のような例外を除いてすべての定住

4) 調査票の見本は次のウェブサイトからダウンロードできる。

<http://www.perepis2002ru/indexhtml?id=12>. Итоги Всероссийской переписи населения 2002 года. Сводный Том. стр. 1121-1127.

ロシア人口センサスの新たな展開

者に対する調査において用いられる。すなわち、人口 50 万人未満の地方に居住する北方少数民族等を対象とした調査には、票だけが用いられる。ホームレス、孤児院などにおける集団生活者、国外への長期出張者、とに対する調査は票だけを用いた簡易調査となった。また、チェチェン共和国における調査は戦時という特殊な事情に制約されて、票だけを用いた簡易調査となった。

これらの調査票は世帯ごとではなく、1 人につき 1 枚ずつ記入された。

(2) 技術的過程

実査がどのような手順を経て進められたかをみる。

(i) 聞き取り調査の諸形態

調査票の配付・記入・回収は次の 3 つの形態が採用された。いずれの場合も調査員による他者記入方式が採用されている。

調査員による世帯訪問

調査の基本的形態は、調査員による世帯訪問と世帯代表者への直接聞き取りによるとされた。質問項目への回答は被調査者の自己申告が尊重され、証拠となる書類等の提示は求めないこととされた。

常設出張事務所 () における聞き取り

常設出張事務所における聞き取り調査が、調査員による世帯訪問を補完する調査形態として採用された。調査員による世帯訪問を受けることを被調査者が望む場合は、世帯代表者が常設出張事務所を訪れ調査員による聞き取り調査を受けた。

電話による聞き取り

電話による聞き取り調査が、世帯訪問も常設出張事務所での調査も困難な場合に、例外的に認められた。

(ii) センサス実施後の点検

10 月 16 日までに殆どの地域において調査が完了し、10 月 17 日から 21 日まで事後点検作業が行われた。この過程において、全体の 0.1% にあたる約 21 万 5 千人分のデータが不適切であることが判明し、うち約 12 万 4 千人分が調査漏れであり、約 9 万 1 千人分が重複調査であったことが判明した⁵⁾。

5) Там же, стр. 470.

(iii) 集計

集計は各行政区毎に行われる地方分査方式が採用された。各行政区毎⁶⁾に行われた集計結果が中央へ伝達され、全国規模の集計が行われた。

(iv) 公表

集計結果は 2004 年から 2005 年にかけて公表され、全 14 巻、11,500 ページがウェブサイト上にも公開されている⁷⁾。また地方に関する詳細なデータが各地方統計委員会ウェブサイトにおいて公開されている。

-
- 6) 1989 年センサスから 2002 年センサスまでの期間における行政区の変更については次の文献に示されている。Итоги Всероссийской переписи населения 2002 года. Пртложение 1 к методологическим пояснениям тома 1.
- 7) <http://www.perepis2002ru/indexhtml?id=12>
各巻の標題と主な内容は次の通りである。
- 第 1 巻 『人口数と分布』 Численность и размещение населения
全国と行政区毎の人口数とその分布、及び構成とが示される。
- 第 2 巻 『年齢・性別構成と婚姻状態』 Возрастно-половой состав и состояние в браке
16 歳以上男女の婚姻状態と 16 歳未満既婚者の情報が示される。
- 第 3 巻 『教育』 Образование
15 歳以上の学歴と 15 歳未満の就学状況に関する情報が示される。
- 第 4 巻 『民族構成、習得言語、国籍』 Национальный состав и владение языками, гражданство
民族属性別の、年齢構成、婚姻状態、出生数、収入源、等が示される。
- 第 5 巻 『生活費の源泉』 Источник средств к существованию
性別、年齢階層別に主たる収入源が示される。
- 第 6 巻 『世帯数と構成』 Число и состава домохозяйств
世帯数と世帯員数とが、ホームレスを含めて示されている。また 2 人以上世帯の類型化が示されている。
- 第 7 巻 『労働力人口と非労働力人口』 Экономически активное и экономически неактивное население
15 歳から 64 歳までの人口が、労働力率、年齢構成、教育水準、就業状態、ごとに示される。
- 第 8 巻 『就業形態別就業者人口』 Занятое население по видам экономической деятельности
15 歳から 64 歳までの人口が、産業部門別、年齢別、学歴別、就業形態別、とにおいて示される。
- 第 9 巻 『国民の雇用』 Занятия населения
15 歳から 64 歳までの就業者が、就業形態別、年齢階層別、教育水準、等において示されている。
- 第 10 巻 『定住地における居住期間』 Продолжительность проживания населения в месте постоянного жительства
定住地における居住期間が、年齢、性別、1989 年センサス時の居住地、との対応において示される。
- 第 11 巻 『国民の住宅条件』 Жилищные условия населения
住居の種類、部屋数、平均面積、築年、材質、等が示される。
- 第 12 巻 『出生』 Рождаемость
15 歳以上の女性による出生数が、婚姻状態、就業状態、民族属性、との対応において示される。
- 第 13 巻 『ロシア連邦の少数民族先住民族』 Коренные малочисленные народы Российской Федерации
少数民族の数と構成とが示される。年齢構成、性別構成、婚姻状態、習得言語、教育水準、収入源、雇用、とに関する情報が示される。
- 総集巻 『2002 年全露人口センサスの基本集計』 Сводный том «Основные итоги Всероссийской переписи населения 2002 года»
都市部と農村の人口について、年齢構成、性別構成、婚姻状態、教育水準、民族属性、習得言語、世帯人員数、住宅条件、居住期間、とが示されている。またセンサス実施時にロシア国内に一時的に滞在していた者の情報も示されている。

第2節 センサスの実査における困難

実査において具体的にどのような困難が生じ結果数値の真実性を歪めることに繋がったかについて、ロシア国家統計庁による総括、調査に実際に携わった調査員等の証言、各種論説や報道資料、とに依拠して検討する。さらに、「世論基金」がセンサス実施後に行ったアンケート調査の検討を通じて、調査環境が如何に劣化していたかを示したい。

(i) ロシア国家統計庁による総括

調査実施において生じた問題についてロシア国家統計庁による総括が示されている⁸⁾。この報告書に基づいて実査における問題についてみておく。

調査の進行状況

調査員による世帯訪問が開始される10月9日以前に、住宅数等に関する事前調査が行われた。事前調査は辺境地とチェチェン共和国とを除いて全国一斉に行われる予定であったが、幾つかの調査区⁹⁾において調査員が出勤しなかった。出勤しなかった理由は病気等とされ、その数は約2600人であり全体の0.7%であった。事前調査の過程において、不適格と判断された3700名の調査員が交代された。

10月9日から本調査が全国の36万583調査区において開始された。幾つかの共和国と州の33調査区において予定時間に調査が開始されず、10月10日に開始された。また終了期限の10月16日までに2200調査区(全体の0.6%)において調査を完了できず、10月20日まで期間が延長された¹⁰⁾。

地理的条件の制約によって調査が困難な29の辺境地自治体において、7月11日に調査が開始された。この地域に居住する人口は約39万9千人である。調査員の派遣と調査票の輸送には、ヘリコプター、モーターボート、キャタピラカー、馬車、などが使用された。

チェチェン共和国

チェチェン共和国においては、10月12日から13日までの2日間にK票だけを用いた簡易

8) Информация о проведении Всероссийской переписи населения 2002 года. «Вопросы Статистики» 2003 No.1 стр. 3-8.

9) 調査員が出勤しなかった調査区があったのは次の共和国、州、都市、とであった。すなわち、アルタイ州、ダゲスタン共和国、スタプロポリ、クラスノヤルスク、ハバロフスク、ウラジーミル、ポログダ、イルクーツク、カーニンングラド、カムチャツカ、コストロマ、モスクワ、ムルマンスク、ノボリビルスク、トヴェチ、サマラ、サハリン、チュメニ、チェリャピンスク、チタ、モスクワ、サンクトペテルブルグ、とであった。 Там же., стр. 3.

10) Там же., стр. 4.

調査が行われた。動員された調査員は1万人超であり、内務省部隊が調査員の安全、調査票の輸送、事務所の警備、とに協力する厳戒態勢のなかで調査が進められた。ロシア国家統計庁によると調査票は無事にモスクワへ届けられたという¹¹⁾。

ところで、調査結果によればチェチェン共和国の人口は約110万人¹²⁾と示されている。調査員は1万人超、調査期間は2日間であり、調査員による他者記入方式が採用された。したがって、1人の調査員が1日あたり55人分の調査票を記入したこととなる。8時間労働を仮定すると、調査票1枚あたり9分しか要しなかったこととなる。戦下において移動時間も含めて1人あたり9分で調査が果たして可能であったのか。当局が主張するような調査がそもそも行われたのかを含めて疑問が残る。

国民への周知

2001年4月から2002年9月まで、国民の理解を得ることを目的として、マスコミを通じた宣伝活動が行われた。広告の数は1万2千件を超え、「マヤク」「モスクワのエコー」「ラジオロシア」などのラジオ局では、定期的にセンサスに関する番組を放送した。

またセンサス実施期間全体を通じて、民族属性の質問項目に関わる人権侵害に関する苦情がロシア国家統計庁へ寄せられた。特に、タタルスタン共和国では苦情を受け付けるためのホットラインが設けられ、137本の苦情電話がありそのうち42本は民族属性に関するものであった。

調査員の世帯訪問を受け入れる代わりに、常設出張事務所において調査を受けたのは全体の5%であり、モスクワ市では3分の1、サンクトペテルブルグでは10分の1のであったという¹³⁾。

調査を妨害する犯罪行為

当局のこのような努力にもかかわらず、調査員が暴行を受けるなどの事例が報告されている。内務省記録による認知犯罪件数は次の通りである¹⁴⁾。

勤務時間内における調査員に対する暴行	7件
調査員事務所への強盗	2件
勤務時間外における調査員に対する暴行	4件
調査員事務所の爆破未遂	2件

11) Там же., стр. 4.

12) 集計結果に示されたチェチェン共和国の人口は110万300人であった。うち、男性は48万9千人、女性は61万3千人であった。

13) Там же., стр. 4.

14) Информация о проведении Всероссийской переписи населения 2002 года. «Вопросы Статистики» 2003 No.1 стр. 5.

これら以外にも、調査員が番犬を放たれた、斧をもって追い返された、などの事例が報告されており¹⁵⁾、内務省記録は氷山の一角と思われる。

また、ロシア国家統計庁のソコーリン長官自身が、ある若い女性調査員に起こった事件について次のように証言している¹⁶⁾。ルブレヴォ・ウスペンスキー街道のある邸宅を彼女が訪問したところ、扉が開くなり彼女は目隠しをされ、邸宅内へ通された。そこで目隠しをはずされ聞き取り調査を許された。調査終了後再び目隠しをされ、通りまで連れられたところで目隠しをはずされた。彼女は恐怖に慄いたという。

(ii) 調査員の証言

実査に関わった調査員等の証言をみる。彼等の証言によって、調査環境の悪化などの多くの問題があったことを窺い知ることができる。ここで主として依拠する資料は、調査直後に科学アカデミーにおいて行われた会議録¹⁷⁾と国立高等経済院において行われた会議録¹⁸⁾とである。

調査漏れへの対応

住人名簿からの転記

調査員が世帯を訪問し直接聞き取りを行うことが基本とされたが、被調査者が不在で面会できない場合、現場においてどのような対応がなされたか。

このような場合、被調査者に関する情報が、住宅管理事務所記録（
）の住人名簿から転記されたという¹⁹⁾。しかし住人名簿から転記できたのは、性別、年齢、出生地、などの限られた情報であり、調査票において求められる調査項目としては不十分であった。また住人名簿は法定人口に近い一種の登録人口であり、定住人口から乖離する可能性が小さくない。

常設出張事務所における問題

調査員による世帯訪問を希望しない人々が常設出張事務所へ赴いて調査に応じた場合、同一世帯の複数の者が調査に応じるという重複が度々生じた。事後の点検によって同一世帯に対する重複調査であることが判明し、1つの調査票に転記された事例が報告されている²⁰⁾。

15) Денис Гуцко. Пробная перепись. «Огонёк» 2008 No.24, 9–15 июня. Стр. 10.

16) Люди счёт лобят. «Вопросы Статистики» 2008 No.3 Стр. 6.

17) В.А.Борисов. Как проводила перепись населения 2002 года в г. Москве: Впечатления участников. «Вопросы Статистики» 2003 No.2 стр. 54–62.

18) Г. Р. Калимуллин. Семинар о переписи населения в ГУ-ВШЭ. «Вопросы Статистики» 2003 No.2 стр. 62–66.

19) Москва経済統計大学人口学講座講師エゴロワの証言。В.А.Борисов. Указ. соч., стр. 57.

20) Там же., стр. 56.

電話による聞き取り

電話による聞き取りにおいて誰が回答しているかを確認することが難しいため、データの信憑性に疑問が残るといふ調査員の証言がある²¹⁾。

調査の捕捉率

センサス終了後ロシア国家統計庁のソコーリン長官は、調査の補足率は全人口の 99.8% という高い数値を発表した²²⁾。しかし多くの調査員が証言しているように、実際に調査漏れは大きかったようである。彼等の証言をみよう。

調査員として参加したある学生は、自身が担当した調査区について次のように振り返る。ここでは 60% から 70% の世帯を直接訪問することができたが²³⁾、残りの世帯については住宅管理事務所記録から転記した。担当地区の 100% の世帯について情報を集めよという上部からの指示であったのでこのような対応になったという。

またある教授は自らの被調査者としての体験を次のように語っている²⁴⁾。ある日調査員から自宅へ電話があり、常設出張事務所での聞き取りと電話での聞き取りとどちらを希望するかを尋ねられた。電話での調査を希望したところ都合の良い時間に事務所へ電話をかけるように言われ、事務所の電話番号も告げられずに電話を切られた。後日インターネットを通じて事務所の電話番号を知り調査に応じたという。

また他の教授も自身が調査から漏れたと次のように証言している²⁵⁾。彼と妻を調査員が訪れることは結局なかった。自分の居住区内で調査員の姿を見たことがないし、常設出張事務所がどこにあるのかもわからなかった。彼は、自分の居住区では調査がそもそも行われず、はじめから住宅管理事務所の住人名簿を転記することで済ませていたのだろうと推測している。

またこれら以外にも自らが調査から漏れたことを示す、ジャーナリスト等による証言が多数ある²⁶⁾。

調査員の能力

調査員の多くが学生であり、忙しい勉学の傍らでモチベーションの低いものが少なくなかった。彼等の中には、大学を通じて調査員として従事することを強要されたと感じるものがあり、これに応じなければ処分されるという噂まで広がった²⁷⁾。低いモチベーションの要因のひとつ

21) Там же., стр. 55.

22) Там же., стр. 61.

23) モスクワ経済統計大学 3 年生アンティポワの証言。 Там же., стр. 55.

24) 科学アカデミー教授ザハロフの証言。 Там же., стр. 60.

25) モスクワ大学人口学教授ポリソフの証言。 Там же., стр. 60.

26) Там же., стр. 61.

27) Калимуллинстр. Указ. соч., стр. 63.

つが待遇の低さである。手当では、一般調査員の場合 1500 ルーブル、指導員の場合 2500 ルーブルであった。また支給される筆記用具は質が悪く、多くの調査員が自費で新たに購入しなければならなかった²⁸⁾。拘束時間は 8 時から 22 時までの長時間に及んだ²⁹⁾。

調査員の中には音楽学校の教師など統計調査に明るくないものも多くいた。調査員の能力の低さを示す次のような証言がある³⁰⁾。ある教授によると、調査員は彼女に対して民族属性を尋ねることはなく「ロシア人」と記入したし、収入源に関する項目については「あなたは働いていますね」といっただけで調査票に何かを記入していた。また、これまでの出産数について調査員が質問しないので、そのことを指摘すると、「ありがとう、この質問をいつも忘れますの」といったという。

調査票の誤記と改ざん

誤記

調査員に対する研修が不十分であったため調査票の誤記が多く見られた。例えば、「8 歳の女の子の母親が 16 歳である」とか、「28 歳の女性に 56 歳の息子がいる」といった続柄に関する多くの誤りがあったという³¹⁾。

調査員の能力不足に起因する誤記だけでなく、被調査者の誤解や利害に起因する誤記も多かったという。例えば、民族属性と国籍とがしばしば混同され、その結果としてロシア民族の数が過大に反映された可能性が大きい³²⁾。また多くの人々が民族属性に関する回答を拒否した³³⁾。またウクライナ人のある軍人がロシア人と回答した例が報告されている³⁴⁾。習得言語についてもその習得水準は不問と多くの人々が理解したため、外国語習得者数は過大に反映された可能性がある。さらに、雇用や収入源に関する回答を多くの人々が拒否した。

改ざん

1 人の調査員が 1 日あたり 50 人から 60 人を調査することがノルマであったので、計画どおり作業が進まない場合は、調査員による作り話が勝手に調査票へ書き込まれた³⁵⁾。

さらに、結果数値への政治的介入を指摘する概ね次のような発言がある³⁶⁾。すなわち、セ

28) Борисов. Указ. соч., стр. 56

29) Калимуллин. Указ. соч., стр. 63.

30) モスクワ経済統計大学教授クチマエワの証言。Борисов. Указ. соч., стр. 57.

31) Там же, стр. 56.

32) Калимуллин. Указ. соч., стр. 63.

33) ロシア連邦憲法第 26 条の規定に従い、何人も民族属性を明らかにすることを強制されない。

34) Там же, стр. 63.

35) 高等経済院 3 年生クリコワの証言。Там же, стр. 63.

36) 科学アカデミーザハロフ教授の発言。Там же, стр. 65.

ンサス終了後1月を経ない時期に早々と人口総数が発表された。またこの数値を最初に公表したのはロシア国家統計庁長官ではなく、他省の大臣が大統領との会談において明らかにした。発表まで極めて短時間であったこと、統計組織以外のものが発表したこと、とから約1億4千5百万人という人口総数はセンサス実施前に既にどこかで決められていたのではないかと、という疑義が示されている。またこのことは人口数が過大に改ざんされた可能性の大きい1939年センサスを彷彿させるとも指摘されている。

(iii) 世論基金による調査

センサス実施前後に調査環境に関する世論調査が、世論基金()によって行われている。

センサス直後に行われたアンケート結果³⁷⁾に依拠しながら、国民が2002年人口センサスにどのように臨んだかを見る。

調査漏れ

報告書のタイトルは「モスクワでは5人に1人が調査に応じなかった」である。タイトルが示すように、調査を受けなかったと回答した人々は次のような割合になった。

調査を受けなかったと回答 全国 7% モスクワ市 20%

調査に応じた場所

調査を受けた方法については次のようになっている。モスクワ市では自宅への調査員の訪問を受けたのは僅かに34%であり、例外的に認められていた電話による聞き取り調査を受けたのは8%にも及んだ。

	全国	モスクワ市
自宅	59%	34%
常設出張事務所	3%	10%
電話による	2%	8%

年齢別調査漏れ

調査を受けなかった人々の割合を年齢別にみると、若年層において高くなっている。

50歳以上 4% 18歳から35歳 11%

37) Петрова. Указ. Соч.. 調査方法は層化多段抽出法であり、44の州・共和国から100居住区を無作為に選びその中から抽出された1800人と、モスクワ市から抽出された600人、とによって標本が構成される。

ロシア人口センサスの新たな展開

センサスの成否

モスクワ市ではセンサスが成功したと考えている人が 35% に留まった。

	全国	モスクワ市
成功	53%	35%
不成功	14%	25%

次に、センサス直前の 10 月 1 日から 6 日にかけて行われた調査結果をみる³⁸⁾。

質問項目の周知度

質問項目を具体的に知っていると思えた人は全国の 48% であり、半数以上の人は具体的に知らなかった。

「センサスの質問項目を知っていますか」

知っている 48% 知らない 49% どちらともいえない 2%

虚偽申告の可能性

センサスの質問項目に対して、人々が正しく回答するかどうかについては、次のようになっている。

「人々は質問に正しく答えると思いますか」

正しく答える 58% 隠蔽する 20% わからない 22%

「あなたの知人は質問に正しく答えると思いますか」

正しく答える 66% 隠蔽する 9% わからない 25%

正しく回答すると答えている人は 6 割程度であり、特に回答が困難な項目は民族属性と収入源に関してであった。

民族属性と収入源とについて回答を拒否した人の数を、2002 年人口センサスの集計結果から見ておく。

民族属性無回答者

センサス報告書の第 4 巻『民族構成及び習得言語、国籍』の 4.1 「民族構成」の中に調査票に民族属性を示さなかった人数が、1,460,751 人と示されている³⁹⁾。ソ連邦最後の人口センサスとなった 1989 年センサスにおいて、民族属性を明らかにしなかった人は 15,513 人であり、10 倍近くに急増している。

38) Распределение ответов респондентов по социально- демографическим группам. 17. 10. 2002. [отчёт][опрос населения] www.fom.ru

39) Итоги переписи населения 2002 года. Том 4. «Национальный состав и владение языками, гражданство», 4.1. Национальный состав населения.

収入源無回答者

センサス報告書第1巻『人口数と分布』の1.「性別・年齢グループ別人口分布と収入源」において、収入源を明らかにしなかった人数が1,503,688人と示されている⁴⁰⁾。その大多数が都市部の住人であり1,454,297人であった。また年齢階層別にみると、30歳から39歳までの階層が最も多く、全体のおよそ3分の1にあたる521,769人であった。

また今日広く行われている住宅賃貸による収入と回答している人は、僅か224,627人であり、過小に反映した数値であろう。

第3節 2010年センサスと2008年予備センサス

(i) 2008年予備センサス

2010年に予定される人口センサスの予備調査が2008年10月に行われた。その概要をみる⁴¹⁾。

10月1日から10月5日まで、ハパロフスク市中央区とサンクトペテルブルグ市ペトログラード区とにおいて、また10月15日から10月25日までモスクワ州バラシハ市管区において、予備センサスが実施された。調査対象となるのは約30万人であった。1,275人の調査員が動員され、うち50人が調査区長、219人が指導員、1,006人が一般調査員であった。2002年センサスにおいて採用された、調査員による他者記入方式と併せて、被調査者による自己記入方式と郵送による調査票の配布と回収とが導入された。自己記入方式と郵送回収とを併せて適用されるのは、3つの市からそれぞれ8,000人であった。

今回の調査の目的は、2002年センサスの際に露呈した、調査漏れ、非協力、回答拒否、調査員の身の安全、などの調査環境をめぐる問題が、自己記入方式と郵送回収とによってどの程度解決できるかを見極めることである。

調査は予定通り終了したと報告されている。

(ii) 2010年人口センサスの成否

新たに導入された自己記入方式と郵送による回収とが、2010年センサスにおいて有効に機能するであろうか。他の国々において既に実施されているこれらの方法の、ロシアにおける有

40) Итоги переписи населения 2002 года. Том1. «Численность и размещение населения», 1. Население по полу, возрастным группам и источнику средств к существованию.

41) Хроника событий. <http://www.perepis2002.ru/index.html?id=11>

ロシア人口センサスの新たな展開

効性に対する疑義がしばしば示されている⁴²⁾。前節においてみたように、2002年センサスにおいて、多くの国民は調査から逃れることを選択したようである。この背景には、権力に対する国民の根強い不信が歴史的に形成された、というロシアの特殊な社会事情がある。権力から自分に関する情報を隠そうとする傾向は、ソ連時代における様々な不幸な歴史的事件によって国民の心理に植え付けられた、遺伝子的特徴であるという指摘がある⁴³⁾。強制移住、富農撲滅、密告制度、等が国民心理の閉鎖性を醸成した点を軽視することはできないであろう。ソ連の抑圧的体制下において形成された権力に対する国民心理の閉鎖性は、闇経済と汚職とが拡がりつつある今日のロシアにおいて、より強固なものとなる可能性を否定できない。

ロストフ州統計委員会議長のエメリヤノフは2006年農業センサスを振り返って、「ロストフには500ヘクタールの温室群の前に立って、自分には何も財産はないと言い張った者がいる」と述べている⁴⁴⁾。このような虚偽申告が積み重なって、ロストフには地主不明の耕地が15万ヘクタールも存在するという奇妙な集計結果が公表された⁴⁵⁾。

過去の不幸な歴史的事件の記憶、政府が闇経済と汚職に対する闘いを進める中で徴税強化への不安、とがセンサス結果の目的外使用への危惧を国民に抱かせているという⁴⁶⁾。調査結果の目的外使用は当然のことながら禁止されている。外国人のロシア滞在目的も、センサス以外の目的外使用をしないことを条件として質問される。2008年8月に南オセチアをめぐるグルジアとの戦争に突入する中で、多くのグルジア人不法滞在者が国外へ追放された。このことは国民が目的外使用への疑問を抱く要因として十分であろう⁴⁷⁾。

(iii) センサス代替方法の可能性

調査環境の悪化によってセンサスの実施が困難となっている。センサスに替えて、行政記録の利用の拡大や北欧に見られる人口レジスターへの移行の可能性について、ロシア国家統計庁当局者の見解に沿ってみる。

行政記録の劣化

ロシア国家統計庁のソコーリン長官は、ソ連崩壊後人口に関する行政記録が劣化し、人口統計の作成における行政記録の利用拡大は現実的でないという⁴⁸⁾。ソ連邦崩壊後人口に関する行

42) Гуцко. Указ. соч. стр. 10–11.

43) Там же, стр. 10.

44) Там же, стр. 10.

45) Там же, стр. 10.

46) Там же, стр. 10.

47) Там же, стр. 11.

48) Люди счёт любят. «Вопросы Статистики» 2008, No. 3, стр. 3.

政記録が劣化した理由は、国内移住の自由化、不法滞在外国人の増加、出入国管理の簡素化、とであるという。近年のロシアにおいて、出生と死亡など人口の自然的変動の全てを行政記録として残すことは不可能である。例えば、ロシア国内の行方不明者は約6万人に上り、徴兵忌避を目的として住民登録をしない不法定住者や、外国人不法滞在者世帯、とにおける出生などがロシアの行政記録として残らない。また出入国記録も劣化が進んでいるという。ロシアとベラルーシとの国境では両国民に対する出入国手続きがない。ロシア国民がベラルーシを経由して他国へ渡航した場合、ロシア出国が記録として残らない。ウクライナとカザフスタンとの国境についても事情は同様であるという⁴⁹⁾。

このような理由からソコーリン長官は人口センサスの必要性を強く主張している。

人口レジスター

フィンランドをはじめ北欧5カ国において見られる人口レジスターについて、ソ連時代に幾つかの地方においてその創設に関する試みがあったという指摘がある⁵⁰⁾。人口レジスターに関する問題提起は、労働省、経済省、等から何度かあったが、1億人を超える人口現象を把握するためのコンピュータ技術の制約と、国民がすべての人口現象の申告に協力するかについて疑問があり、現在のところ導入は不可能という⁵¹⁾。

結 び

今日のロシアにおける人口センサスの調査環境の悪化と、それに対する統計組織当局の対応とを中心に見た。2010年人口センサスにおいて予測される問題を指摘し結びとしたい。

第一に、2010年センサスにおいて、2002年センサスと同様に大量の調査漏れが懸念される。ラジオ「モスクワのエコー」が実施したアンケートによると、2010年人口センサスの調査を受けると回答した人は61%、調査を受けないと回答した人は36.5%であった⁵²⁾。国民の協力を得るのは2002年センサス以上の困難が予測される。さらに、新たに導入される自己記入方式と郵送による回収とが、調査のカバレッジを一層低下させる可能性を否定できない。

第二に、結果数値が改ざんされる可能性がある。第2節において見たように、2002年セン

49) Там же, стр. 3-4.

50) Луковая цифра- перепись населения: оно вам нужно? 26.08.2008. Радио «Эхо Москвы». www.echo.msk.ru/guests/3888/ ラジオ「モスクワのエコー」で2008年8月26日に放送された、ロシア国家統計庁人口統計保健統計課長ズバルスカヤの発言。

51) Там же.

52) Там же.

ロシア人口センサスの新たな展開

サスの際、調査票が改ざんされた多くの事例に関する証言があり、また集計結果が政治的恣意によってあらかじめ決められていたのではないかという疑義が示されている。

2008年5月、ロシア国家統計庁は大統領府直属機関からロシア経済省付属機関として移管された。経済省は経済政策の実施に対して責任を負う組織であり、ロシア国家統計庁はその成果について調査する組織である。統計組織が経済政策実施機関へ従属することによって、統計組織の政治的中立を担保することはできるのだろうか。調査結果の改ざんに関する先の指摘と併せて危惧される点である。

調査環境の悪化が進む中で、センサスの実施が今後も可能であるのか注目される。

Summary

New aspects of Russia's population census

Russia's first population census after collapse of the Soviet Union was conducted in 2002. The census presented quite a few problems including low coverage and fraud reporting. This article is to elucidate that difficulty of the survey conditions had a negative influence on the census results.